

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(月)

事務事業		医師確保推進事業		担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3345	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市後期研修医研修資金貸与条例				
	小項目	2	地域医療体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		第三次救急病院として地域医療の拠点である深谷赤十字病院における医師確保を図るため、研修医、医学生を対象とする事業を実施し、医師確保対策に取り組むものである。								
目的 ※何のために		地域医療体制の充実								
対象 ※誰・何を対象に		後期研修医研修資金の貸与を受けた医師								
手段 ※どのように		研修資金及び奨学金を貸与する。								
成果 ※何を求めるか		市内病院において勤務する医師を確保する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	医師確保推進事業	3,000
本事業の 主な業務		・医師育成奨学金貸与制度							・	
		・後期研修医研修資金貸与制度							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	44,520,000	39,613,000	23,584,000	12,008,000	33,000	33,000
	決算額	37,469,392	38,733,000	21,765,534	11,978,000	3,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	34,375,000	0	19,800,000	0	0
		一般財源	3,094,392	38,733,000	1,965,534	11,978,000	3,000
人件費	従事職員数(人)	0.38	0.58	0.58	0.58	0.57	0.55
	人件費相当試算※	2,956,020	4,513,560	4,559,380	4,718,880	4,424,292	4,472,241
総事業費試算		40,425,412	43,246,560	26,324,914	16,696,880	4,427,292	4,505,241

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
	実績値										
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
活動指標 1	実績値の算出式										
	医師確保事業メニュー数	目標値	事業	2	2	2	2	2	2		
		実績値		2	2	2	2	2	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度におけるメニュー数 / 医師確保事業メニュー数								
実績値の算出式											
活動指標 2	後期研修医研修資金被貸与者	目標値	人								
		実績値		3	3	3	3	3	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度（平成23～27年度）終了により実績値のみ / 実績値								
	実績値の算出式										
成果指標 1	医師育成奨学金貸与制度利用者数	目標値	人								
		実績値		7	7	6	6	6	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度（平成23～27年度）終了により実績値のみ / 担当課で把握								
	実績値の算出式										
成果指標 2	制度利用者における深谷赤十字病院勤務者数	目標値	人	0	0	1	2	4	6		
		実績値		0	0	1	2	4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸与制度の利用者における深谷赤十字病院勤務者数 / 担当課で把握								
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	貸与制度は「後期研修医研修資金」及び「医師育成奨学金」の2事業であり、平成27年度で募集は終了し現在は行っていない。現在、後期研修医研修資金貸与者は3名であり、平成26年度からの実績値となっている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	現在、医師育成奨学金貸与者は6名であり、その内、専門医研修医が2名、初期研修医2年目2名、1年目2名が深谷赤十字病院に勤務している。
			評価者 地域医療係長 渡邊忠道

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	診療科目決定等奨学生に関する調整事項について、深谷赤十字病院の職員・研修担当との連絡調整を密に行う等、効率的に執行している。
			評価者 地域医療係長 渡邊忠道

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	医師確保推進事業	担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3345
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		奨学生の育成については、コロナウイルスの感染状況を踏まえ、研修会や個別面談など事業を中止せざるを得なかったことは大変残念であった。 現在、深谷赤十字病院に勤務し、診療科目が決定した医師育成奨学生は3名おり、医師不足解消を目指した市の施策も順調に進捗していることから、今後も引き続き、深谷赤十字病院と連携を図りながら医師育成奨学生の育成に努めていきたい。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 保健センター所長 穂山光昌					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	医師育成奨学生の意識の高揚、郷土愛の醸成を図るとともに、受験等に関する悩みの解消などを目的としたよろず相談や個別相談を実施し、奨学生のニーズに対応するべく、深谷赤十字病院との連携を深めていくことが重要である。

8. 評価指標グラフ

